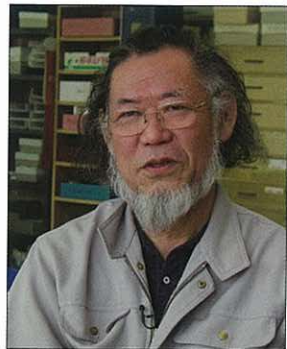


熊野筆の技術を活用した「化粧筆」の開発・販売事業化

広島県熊野町は、江戸時代末期から熊野筆の生産が盛んである。当町の有限会社竹田ブラシ製作所は、昭和22年の創業以来、一貫して化粧ブラシの製造に取り組んでいる。

「海外輸出を始めたのは、昭和20年代後半。国内営業に強くなかったこともあり、海外輸出にシフトしていききました。品質と単価だけで勝負



代表取締役 竹田 史朗

略歴／昭和19年生まれ。同43年広島大学卒業。同47年株式会社中国地質調査事務所設立。同55年有限会社竹田ブラシ製作所代表取締役社長就任。

がかかります。しかし認定を受けられたので、補助金の交付も利用でき、開発に十分な経費をかけることができました。資金面のみならず、デザイン面でのアドバイスを受けられたのもありがたかったです」

新商品で地元も活性化したい

同社は販売店も経営しているため、ユーザーの反応をダイレクトに感じることが出来る。使う人の声に真摯に耳を傾け、消費者の気持ちに寄り添い、良い製品を届けたいと日々がんばっているそうだ。

「当社の商品を使った人が『よその商品には変えたくない』という気持ちを持ってくださるぐらいに、重用される商品を届けたい。常にそういった心意気で製品を作っています。新商品を開発する努力を続けるのはもちろんですが、熊野筆の技術を持つ地元企業と協力し、穂先の部分の製造委託などにも挑戦していきたいと考えています。熊野筆の生産地である熊野が活性化するようにもっていききたいですね」

していましたが、昭和40年代ニクソンショックで状況が一変。円が高くなり、売り上げが落ちてしまったんです。私が事業を引き継いだのは10年連続赤字という苦しい時期でした。苦境から脱出できたのは技術の高い職人が支えてくれたから。携帯用金属製のリップブラシなど、多くの人から支持される力のある商品があったから、今があるのです」

世界基準の Takeda Brush ブランド

高い技術を持った職人たち、そして竹田社長の卓越したアイデアが功を奏し、当社はさまざまなブラシを提案していった。

「西ドイツのメーカーの依頼を受けて携帯用チークブラシを開発。さらにボディが細いリップブラシも開発。

よそにない二つの商品ができたことで、他社の追随を許さないようになり、同時に国内での販売も好調になりました」

今では、歌舞伎・演劇等の日本化粧の刷毛から、欧米のメイクアップブラシまで500アイテム以上。オリジナルの金型設計技術をもとに当社の名を世界に知らしめた携帯用リップブラシ、世界中にコピーを生んだ携帯用チークブラシなど、オリジナルブランド・Takeda Brushからは世界を席巻する商品が続々誕生している。

ユーザーに喜ばれる商品開発が目標

認定事業として開発を進めているのが、穂先が自動で出入りするチークブラシ「スライドブラッシャー」に自動開閉する蓋をつけた商品。す

でに日本・アメリカ・EUでの特許登録を終え、今後、日本はもちろん海外へも販路を広げる予定だ。「ブラシ本体に蓋があれば、化粧した後でもバックや服を汚すことがありません。また、従来の袋に入れるタイプで起きていたような穂先の傷みも軽減できるのがメリットだと思います。昔は自宅の化粧台の前で化粧をしましたが、今は外出先で化粧することも多く携帯性は外せないポイント。駅のトイレなどで化粧を直す時、キヤップを置かず片手で出し入れできたら便利ですね」

ユーザーに喜ばれる製品にするために、蓋の開閉、穂先を出す前に毛を保護すること、穂先が完全に収まってから蓋も閉まる工夫など、商品化まで試行錯誤を繰り返した。「自前で開発するとかなりコスト

事業概要

江戸時代から伝わる歴史ある「熊野筆」の技術を活用した高品質で利便性の高い「化粧筆」を開発し、日本国内及び海外への販売を行う。

当社は、利便性の高い化粧筆に関する国際特許を取得していることから、それを活用した新商品開発を行うこととした。

筆関係の商品は、安価な海外製品が市場を席巻しているのが現状であるが、熊野筆の持つ、独特の繊細さや緻密さは、女性の肌に適しており、また、それに穂先の品質以外の利便性も付加することで、より商品価値が向上できると考えている。

売れる商品づくり

競争力 穂先の品質については、すでに国内外で十分評価されているうえ、利便性の高い化粧筆関係の特許を取得していることから、大きな差別化要素になると考えられる。

市場性 化粧筆は、成人女性であれば、必ずといって良いほど所持している化粧道具の定番であり、市場規模が大きいうえ、必ず買い替え需要のある商品であることから、利便性が高い高品質の新商品を投入することで、需要の喚起が期待できる。

販路 現在、百貨店への販売ルートを有しており、それは今後も増える予定であることから、利便性が高い高品質の新商品を投入することで、より一層の販路拡大が期待できる。

地域資源における関係事業者との連携

今後、新商品の需要が拡大した場合には、熊野町内で同様の技術を持っている事業者と協力し、穂先の部分の製造委託を行いたいと考えている。

これは、筆の生産技術が地域内で伝承されている熊野町ならではの取り組みであり、今後の技術伝承にも寄与する。



Information

有限会社 竹田ブラシ製作所

所在地 ● 広島県安芸郡熊野町中溝 4-8-1
TEL ● 082-854-0144
URL ● <http://www.takeda-brush.com/>
設立 ● 昭和39年3月1日
資本金 ● 300万円
従業員数 ● 18人

● 会社事業内容
化粧ブラシの製造・販売。熊野筆の技術を活かして高品質で利便性の高い化粧筆を開発。国際特許を取得していることから、それを活用した新商品開発にも取り組む。現在は日本国内はもとより、海外にも販売している。

【活用する資源】

熊野筆

【地域】
広島県熊野町

【認定日】
平成19年10月12日

【認定行政庁】
経済産業省



広島県